



さいかい 市議会だより

NO.79

令和7年
12月定例会号
2月5日発行

住めば都（撮影：ラム ケイシャ氏）

目次

定例議会の概要	…… P1
定例会で審議した案件 及び結果	…… P2～P3
常任委員会審査報告	…… P3～P4
常任委員会調査報告、 議員研修会の報告	…… P5
一般質問	…… P6～P11
議会のしくみ	…… P11
西海市議会からの お知らせ	…… P12
編集後記	…… P12

令和7年第4回西海市議会定例会の概要

■会期

令和7年11月28日（金）から12月12日（金）までの15日間にわたり開催されました。

■審議・可決事項

本定例会では、一般会計補正予算や国民健康保険・介護保険などの各特別会計補正予算、条例の制定・改正、指定管理者の指定等、多岐にわたる議案について審議が行われ、原案どおり可決されました。

このうち、議案第59号については、議員間で討論が行われ、それぞれの立場から意見が交わされました。

また、国に対し再審法の改正を求める意見書の提出を求める請願第1号については、慎重な審査の結果、不採択と決定されました。

■一般質問

一般質問では11名の議員が登壇し、市政運営や市民生活に関わる課題について質問が行われました。各議員の視点から活発な質疑が交わされ、市政の現状や今後の方向性について理解を深める定例会となりました。

本誌に写真を掲載しませんか？

表紙に掲載する写真の公募を行っています。詳しくは西海市ウェブサイトをご覧ください。
また、スマートフォンなどでQRコードを読み取ると入力フォームが開き応募ができます。



こちらから応募できます

令和7年第4回西海市議会定例会で審議した案件及び結果

議案等番号	件 名	議決等年月日	議決の結果
報告第16号	令和7年度西海市一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	令和7年11月28日	承認
報告第17号	ときわ台小学校区スクールバスの事故に係る和解についての専決処分の承認について	令和7年11月28日	承認
報告第18号	財務課公用車の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	令和7年11月28日	報告済み
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	令和7年11月28日	支障なし
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	令和7年11月28日	支障なし
議案第58号	西海市地区集会施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第59号	西海市交通船使用条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第60号	西海市議会議員及び西海市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第61号	西海市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第62号	西海市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第63号	市道の路線廃止について	令和7年12月12日	原案可決
議案第64号	西海市地区集会施設等の指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第65号	西海市大瀬戸社会福祉センターの指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第66号	西海市大島児童館の指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第67号	西海市西海高齢者生活支援ハウス及び西海市高齢者コミュニティセンター「くろくち荘」の指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第68号	西海市崎戸高齢者生活支援ハウスの指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第69号	西海市黒口ふれあいの館の指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第70号	西海市江島デイサービスセンターの指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第71号	西海市平島デイサービスセンターの指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第72号	西海市大瀬戸デイサービスセンターの指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第73号	西海市中浦すこやかセンターの指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第74号	西海市大島配食サービスセンターの指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第75号	西海市デイサービスセンターつばき苑の指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第76号	西海市西海みかンドームの指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第77号	西海市伊佐ノ浦公園の指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第78号	西海市七ツ釜鍾乳洞公園の指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決

議案第79号	西海市大島大橋公園及び西海市大島崎戸観光案内所の指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第80号	西海市大島大釜海岸ふれあいの浜広場の指定管理者の指定について	令和7年12月12日	原案可決
議案第81号	令和7年度西海市一般会計補正予算（第5号）	令和7年12月12日	原案可決
議案第82号	令和7年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	令和7年12月12日	原案可決
議案第83号	令和7年度西海市介護保険特別会計補正予算（第2号）	令和7年12月12日	原案可決
議案第84号	令和7年度西海市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	令和7年12月12日	原案可決
議案第85号	令和7年度西海市交通船特別会計補正予算（第1号）	令和7年12月12日	原案可決
議案第86号	令和7年度西海市水道事業会計補正予算（第1号）	令和7年12月12日	原案可決
議案第87号	令和7年度西海市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	令和7年12月12日	原案可決
議案第88号	令和7年度西海市下水道事業会計補正予算（第1号）	令和7年12月12日	原案可決
議案第89号	西海市組織条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年12月12日	原案可決
請願第1号	国に対し、「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願	令和7年12月12日	不採択

◎ 常任委員会審査報告 ◎

総務文教厚生常任委員会

審査件数 補正予算4件 条例6件 その他12件

◆主な審査内容◆

議案第59号 西海市交通船使用条例の一部を改正する条例の制定について 原案可決

本議案は、交通船の安定的な経営を図るため、一般旅客運賃及び小荷物、特殊手荷物運賃の増額にかかる改正案である。

反対討論として、委員からは「40%の増額となる280円の運賃改定は、物価上昇や生活の厳しさを考慮すると利用者に大きな負担となるため、段階的な措置が必要である。」等の意見が出された。

賛成討論として、「利用客の調査や分析を行った結果、赤字等の現状を踏まえた一般会計からの繰入金金の増額等を考慮すれば、交通船の安定的な経営を図るためには、今回の料金改定はやむを得ない。」等の意見が出され、起立多数で原案可決となった。



▲市営船 New松島

議案第62号 西海市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について 原案可決

本議案は、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、現行の幼児教育や保育給付に加え、子ども・子育て支援法に基づく新たな給付として、令和8年度から実施される制度案である。

反対討論として、「昨今、保育施設における死亡事故は、預け始めが非常に多く、毎回違う施設に預けることが可能な自由利用は重大な事故のリスクを子どもにもたらす危険がある。」という意見が出された。

賛成討論として、「保護者の孤立防止や育児への不安の軽減、さらには産後うつ等の精神的な負担軽減に繋がる可能性がある。」等の意見が出され、起立多数で原案可決となった。



産業建設環境常任委員会

審査件数 補正予算3件 その他6件

◆主な審査内容◆

議案第63号 市道土井行線の路線廃止について 原案可決

土井行線は現在市道としての利用実態がなく地元の同意を得て、当該路線を廃止するもの。

質疑 市道の廃止後、農道になり土砂崩れ等の災害が発生した場合はどのような対応を行うのか伺う。

答弁 市道区域を外すことで道路法第4条の私権の制限がなくなるが、道路災害が発生した場合は、農林災害復旧事業で復旧することが可能。

議案第76号 西海市西海みかンドームの指定管理者の指定について 原案可決

質疑 今回応募があった事業者の選定基準を伺う。

答弁 事業者のプレゼンテーションなどを参考に選考委員6名による厳正なる採点評価方式により選定した。



質疑 交付する運営補助金の補助率は60%であったが、80%へ引き上げた経緯を伺う。

答弁 類似する団体と補助率を合わせるもので自己資金節減を目的とする。また、協会からの要望もあり、協会自らが従業員の賞与カットに踏み切っていた。

議案第79号 西海市大島大橋公園及び西海市大島崎戸観光案内所の指定管理者の指定について 原案可決

質疑 観光案内所に関して認知度が薄いように感じるが改善していく考えがあるか伺う。

答弁 現在橋の景観が良く、立ち寄る観光客は多いが、観光案内所は立地が悪く立ち寄りにくい環境にあると考えられる為、観光案内所又はお土産売り場の移設を検討していきたい。



予算決算常任委員会

審査件数 補正予算1件

議案第81号 令和7年度西海市一般会計補正予算（第5号） 原案可決

- 補正額 3億760万3千円
- 補正前予算額 234億6,088万円
- 補正後予算額 237億6,848万3千円

◆主な事業内容◆

◎車両管理費

公用車に搭載しているテレビ受信機能付きのカーナビについて、NHK受信料の支払いが必要となったことから、対象車両36台分の受信料を支払うもの。326万5千円。

◎松くい虫防除事業

令和7年当初予算実施後に新たに発生した枯れ松が多数あることから、伐倒・薬剤の樹幹注入を実施するもの。場所は大瀬戸町雪浦地区。266万8千円。

◎放課後児童健全育成事業（補助分）

国交付要綱の改正に伴う補助基準単価の増額及び当初予定より不足が見込まれる母子家庭等児童助成補助分を増額するもの。1,326万円。



◎江島出張所費

人事院勧告に伴う人件費の増加及び、江島沖洋上風力発電事業者が江島地区集会施設を長期利用する予定のため、消耗品費、光熱水費及び寝具等の備品を購入するもの。167万1千円。

◎西彼中央運動場改修事業

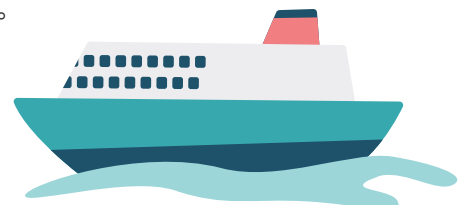
グラウンドにおいて、経年変化等により地盤沈下が生じ、既存の排水構造物が機能していないため、側溝整備を行うもの。448万円。

◎農地災害復旧事業（補助分）

8月豪雨により被災した農地を復旧するもの。事業箇所は西海町横瀬地区の田1件。200万円。

◎交通船特別会計繰出金

交通船特別会計において、運賃収入や繰越金の減少と、人件費や修繕費の増加などにより財源が不足するため、一般会計からの繰出を行うもの。1,340万1千円。



産業建設環境常任委員会調査報告

テーマ

一般廃棄物処理施設の更新と広域化に向けた取組について

調査日

令和7年10月14日(火)～令和7年10月15日(水)

場所

奈良県広陵町 リレーセンター広陵
奈良県天理市 やまとecoクリーンセンター
やまとecoリサイクルセンター

調査概要

本調査は、「一般廃棄物処理施設の更新と広域化に向けた取組について」をテーマに、広陵町における旧炭化施設の廃止と広域処理への移行、さらに広陵町を含む10市町村でのごみ処理施設の共同設置、運用を行う山辺・県北西部広域環境衛生組合の先進的な取組を研究し、本市の今後のごみ処理施設の更新や広域化の可能性を検討することを目的として実施した。

まとめ

広陵町及び山辺・県北西部広域環境衛生組合の先進的な取組を学び、本市における廃棄物処理施設

の更新と広域化の可能性について、多くの示唆を得ることができた。特に広域化で建設費用や運営費用の削減が期待できる。

一方で、広域化の課題として、ごみ分別の統一化や中継施設の必要性が挙げられるが、住民説明や合意形成を丁寧に行い、理解を得ることが重要である。

本市においても課題である、ごみ処理施設、最終処分場の整備に取り組むことになるが、市内完結型に拘らず、将来の市民負担軽減をするため、広域化も視野に入れた検討も必要である。



▲広陵町での研修の様子



西海市議会 議員研修会

■開催日：令和7年12月18日(木)

■開催場所：西海市議会議員控室

研修の目的

我々議員16名は、令和7年5月の改選後、様々な議員活動に取り組んできたが、市民の代表としての役割を今後より一層効果的に果たすための基盤を築くことを目的として、講師を招聘しての研修会を実施した。

今回の研修は、一般質問に関する法的根拠や実践的なルール等を学ぶことで、議員としての知識とスキルの向上を目指すものである。

研修会の結果

約3時間の講義であったが、具体的な事例に基づく演習や活発な質疑応答も行われ、改めて一般質問の根拠や実践的なルール、考え方、また、一般質問を行う際に持つべき視点について学ぶことができた。

これからも私たちは、市民の代表としての役

割を果たすため、更なる知識と資質の向上を目指すとともに、今後も活発な議会運営及び議員活動に尽力していきたい。

(谷口 雅樹 議員)



▲議員研修の様子



創生会
にし かわ かつ のり
西川 勝則

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

蛍光灯の2027年問題への対応について

問 本市の庁舎や学校を含む公共施設、街路灯・防犯灯などにおいて、現在使用されているLED照明器具の設置台数やその割合について伺う。

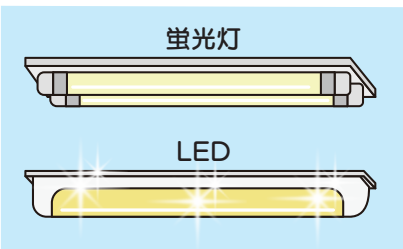
市長 設置台数までは把握していないが、419施設に対して更新済み39施設、一部更新済み52施設であり、更新割合は9.3%である。

問 今後のLED照明への更新の状況について

市長 今後LED化更新計画を策定し順次計画的な更新を進めていく。

問 更新を進めるための財源確保策や優先順位の考え方について伺う。

市長 交付税の措置率が少しでも有利な地方債を財源として進め、更新に当たっては、



市民の利用頻度や施設の重要度等を勘案した上で順次更新を進める。

新庁舎建設に向けた考え方について

問 現庁舎の老朽化と日常的な補修の現状、庁舎の分散による職員間の連携不足や市民サービスへの影響について、どのように認識し、どのような対策を行っているのか伺う。

市長 維持管理費は増加傾向であり、災害発生時の安全性にも懸念している。また、本庁機能が分散しており、部署間の連携に時間を要し、業務効率や市民サービス面での支障が顕在化している。対策として、行政手続きのオンライン化を進めるほか、市民の手続きが完了するよう窓口の集約化を図っているが運用改善のみでは限界があり、将来的な行政サービスの質の維持・向上のためにも、庁舎の在り方そのものを見直す必要がある。

問 建替場所の選定については、災害リスクの低減、安全性の確保、交通の利便性などを考慮すべきと考えるが、今後どのような方針で検討する予定か伺う。

市長 庁舎整備の第一歩として、「西海市役所新庁舎整備方針策定事業」を来年度実施する予定であり、そのための予算を来年度当初予算に計上する方針である。直ちに建設場所などを決定するものではないが、新庁舎建設の検討の進め方や建設の方向性を丁寧に整理してまいりたい。



創生会
いし ざき よし のぶ
石崎 義信

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

琵琶石ノ鼻駐車場周辺の景観整備について

問 黒口から太田和202号線の琵琶石ノ鼻駐車場敷地及び近隣藤の花が咲く休憩所の管理状況について伺う。

市長 大瀬戸土木維持管理事務所が実施していることから市としては関与や協議は行っていない。

問 県に対して定期的な草刈りなど整備を要望する考えはないか伺う。

市長 県に対して、住民参加型の美化活動の推進を含め維持管理を定期的に行うよう要望する。

問 民間等へ維持管理を委託し維持管理と有効的なイベントなどが活用できるような働きかけはできないか伺う。



▲琵琶石ノ鼻駐車場

市長 国道の一部であることから許可が必要であり利用の際は協力できる範囲で対応する。

地すべり対策工事周辺区域の維持管理について

問 県の対策事業に併せて、市が所有する農業用水路の雑木や雑草の伐採及び除草を県に働きかけることはできないか伺う。

市長 荒廃状況が個人所有の農地の雑木や雑草の繁茂、土砂の流出が要因であるため、市から働きかけを行ったとしても県での伐採等は難しいと考える。

問 浜地区急傾斜崩壊対策工事が行われたが、雑木や雑草が生い茂り、非常に危険であるため、対応ができないか伺う。

市長 当該箇所については採択要件を満たすことで、工事が実施されており、除草や枝木の伐採等は、関係者で実施していただくこととなっている。

卒業アルバム購入費用の支援について

問 卒業アルバムの購入費用に対する助成制度を創設できないか伺う。

教育長 保護者の負担が過度にならないように内容や価格抑制の工夫について適切に相談、協力を図るよう、必要に応じて助言をおこなう。



創生会
かわぐち まさ ゆき
川口 正幸

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

中学生の部活動地域移行・地域展開に伴う支援体制について

問 「部活動の廃部規定」の見直しや、拠点校部活動を含めた「受け皿」の設立方法、部活動からクラブ活動への移行のタイミング、関係者への周知についてどのように整理されたか伺う。

教育長 「廃部規定」の見直しについては、各中学校単位ではなく、少数の部活動でも継続できるようにする等の規定の見直しを視野に入れ、各中学校との調整を行いたいと考えている。「受け皿」の設立については、新たな地域クラブの発足や既存の地域クラブへの中学生の受け入れについての協議を行い、受け皿となる地域クラブの拡充を図っている。移行のタイミングについては、今年度からは拠点校部活動として活動している西海中学校女子バスケットボール部について、来年度、週末の部活動の廃止に向けて協議を進めているところである。また、他の部活

動においても、原則として、まずは拠点校部活動への移行、その後、週末の部活動を廃止し、認定地域クラブに移行する体制を整えてまいりたい。週末の部活動における移行のタイミングとしては、本市として令和10年度を目標としていきたいと考えている。

問 現行の中学校部活動への補助制度の見直しやクラブ活動への補助制度の創設の観点から、現在の課題と今後の見通しについて伺う。

教育長 公平性確保の観点から、認定された地域クラブに所属する市内の中学生が中学校体育連盟主催の大会において、九州・全国大会への出場となった場合の交通費や宿泊費の補助に関して、現行の補助制度内で部活動と同様の補助を行うことができるよう準備を進めてまいりたい。地域クラブへの補助制度の今後の見通しについては、地域クラブ化した場合に発生する指導者の資格取得に要する費用、指導者に対する謝礼や交通費等について、一定の基準に基づき支援できないか考えている。



吉粒会
みや はら たつ や
宮原 達也

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

大串グラウンドナイター設備の改修助成について

問 地区が管理している大串地区グラウンドは老朽化によりナイター設備の電球が数か所切れており、夜間使用時に照明が不十分で危険な状態であるが、改修費用が高額で地元の負担が難しく改修に至っていない状況である。このような事案は他の地区においても発生していると思われることから、地元負担を軽減し、改善できるような手立てが検討できないか伺う。

市長 本市においては、自治会活動の活性化を目的として、自治会が建設、購入または所有、管理する集会所や野外運動場の整備に対し、集会所等整備事業費補助事業を実施している。一方で、昨今の物価高騰に加え、人口減少に伴う自治会加入数の減少により、地元負担がこれまで以上重くなっている。本市の財政状況や他市の取組状況を踏まえつつ、事業のあ

り方について研究していきたい。

不登校の子どもたちへの支援について

問 市内小中学校における不登校の児童・生徒の現状と推移について伺う。

教育長 本市における不登校の状況は、国や県と同様に、この10年間で大幅に増加している。

問 不登校の要因を把握しているのか、また、その要因について分析を行い、どのような対応策を講じているのか伺う。

教育長 全ての不登校児童生徒の要因や状況を把握するために、毎月の調査や指導主事による学期毎の学校訪問を通じて詳しく聞き取っている。

問 不登校の児童・生徒に対する、学校・家庭・教育支援センター・地域との連携状況について伺う。

教育長 学校と家庭間においては、児童生徒や保護者の状況に応じて、日々の欠席連絡を通じたやり取りや家庭訪問等を通じた働きかけを続けており、保護者との連携・協力を図っている。

問 連携を活かした、不登校の児童・生徒が安心して過ごせる居場所づくりの拡充に取り組めないか伺う。

教育長 教育委員会としても、不登校児童生徒が安心して過ごせる居場所づくりに努めているところである。





西海市議会
日本共産党
ふち せ えい こ
沢瀬 栄子

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

最低賃金引き上げに伴う対応について

問 長崎県最低賃金が令和7年12月1日より時給1,031円となり78円引き上げられることに伴う対応について、本市の中小企業や小規模事業者の賃上げ実現に向けて支援が必要であると思うが見解を伺う。

市長 中小企業経営強化支援事業により、市内業者の設備投資を支援しており、引き続き商工会と連携の上、支援策の情報を提供していく。

問 二戸市では、市内事業者の賃上げの加速を図るため、国の交付金を活用して賃上げを実施する事業者に対して従業員1人あたり3万円補助金を交付している。物価高騰対応重点支援地方交付金に中小企業小規模事業者の賃上げ環境整備メニューの追加があれば本市も実現可能ではないか。

西海ブランド振興部長 人件費の上昇は今まで以上になっているが、中小企業の経営強化支援事業を継続していく。

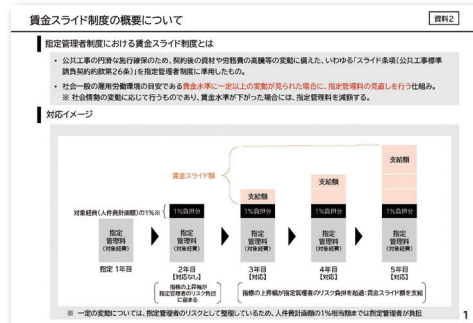
問 指定管理者に財政的支援を行う賃金スライド制度を本市も導入する必要があるのではないか。

市長 令和8年度から導入できるよう制度設計の検討を進めている。

問 会計年度任用職員の報酬は時間額が職種ごとに960円から1,400円と規則で定められているが改定方針を伺う。

市長 大部分の職種の報酬額を見直し、12月1日から適用する。

総務部次長 80円から560円の幅で引き上げる。



物価高騰対策としての水道料金の基本料金減免について

問 再度、物価高騰対策として水道料金の基本料金の減免を求めるが見解を伺う。

市長 本市への重点支援地方交付金の具体的な交付額が示されたなら選択肢の1つとして考えられる。



創生会
ひゃく たけ ただ ひこ
百岳 忠彦

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

崎戸町無医師地区について

問 令和7年第2回定例会で質問した本件の具体的な進捗状況と、関係機関との協議状況について伺う。

市長 崎戸町本郷地区において、大島の医療機関によりオンライン診療ではなく巡回診療を今年10月から月1回実施しており、3月まで計6回の実施予定である。市民の皆様が安心して医療を受けられる持続可能な医療提供体制へ向け、地域の医療機関や関係者、県と連携を図りながら取組を進める。

定住・永住促進政策について

問 西海市、大島造船所、十八親和銀行の3者で市が運営する児童館を含む遊戯場、飲食店、フィットネスジムを建設し、「住みやすく、子育てしやすく、長く住める町を目指す」と発表した。この複合施設の建設や維持管理、そして運営等を行政としてどのように関係機関と連携し関与して行く考えか伺う。

市長 大島造船所が一体的に整備を行うが、公の施設となる児童館部分及び共用部分の面積に応じて、その整備費を市が負担金として拠出し、整備後には児童館及び共用部分を区分所有する手法をとる予定である。市負担分の財源は国の交付金と残りの部分については起債借り入れで対応を考えている。



▲複合施設のイメージ図

問 市有財産の「大島旧とれたて市場跡地」の宅地分譲を市独自で実施することはできないか。

市長 市が分譲地として整備して個人に売却するか、あるいは別の用途で活用を図るか検討している中、民間の従業員宿舍用地として活用したいとの相談もあるので用途を検討する。子育て応援住宅建築支援事業補助金の上限額も40万円から90万円に引き上げている。

問 市の39歳までの女性推移をみると、後5年程度で令和2年比50%を割り込んでしまう。定住対策は考えられるすべてを実施すべきで、ふるさと納税を基金に回す時間的余裕はないと思うが考えを伺う。

市長 人口減少に歯止めをかけるという施策で短期的にできるもの、中長期にやるべきものなど様々ある。1人でも多くの方々が出会い、結婚していただく必要がある。市営住宅の空き家対策についても力を入れていく。



創生会
かわぐち たか ゆき
川口 隆之

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

西海市ならではの土産品の開発と普及活動への取組について

問 本市の地域資源を活用して観光客が気軽に購入できるこれぞ西海市という定番の土産品を生み出すための市の戦略はないのか伺う。

市長 観光協会の取組として、新たな土産品開発を市も支援しながら行っているが、完成には至っていない状況である。今後は、観光協会とも協議を行いながら、引き続き開発を支援してまいりたい。



学校及び社会体育施設の体育館へのエアコンの設置について

問 国の補助制度等を最大限に活用し、各体育館の空調設備設置を早期に進める考えはないのか伺う。

教育次長 できれば来年度から着手に向けた形で予

算確保ができないか進めている。

シニアカー利用支援について

問 運転免許返納後の高齢者がシニアカー購入による、移動手段を確保できるまで空白期間が生じているが、このような実態を市は把握しているのか伺う。

市長 約1ヶ月間の空白期間が生じるものと認識をしている。この空白期間の発生は生活の質に大きく影響を及ぼす重要な課題であると認識しており、その解消に向けて研究していく。



松島架橋について

問 令和7年第2回定例会において、松島架橋概算工事費算出業務委託料の補正予算が計上されたが、事業の進捗状況について伺う。

市長 概算工事費は、令和2年度の178億9,320万円から23.8%増の221億5,400万円となる見込みとの報告を受けた。市としてどの程度の事業費負担を行えば、国へ働きかけていただけるのか、どのような手法があれば実現の可能性が高まるのかといった考えを知事に伺い、市と連携して検討・議論を進めていただくようお願いしてきた。



壺粒会
ひら い みつ ひろ
平井 満洋

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

長崎オランダ村について

問 長崎オランダ村に2つある浮き桟橋の1つが、現在完全に沈下している状態である。そこで、高規格道路「西彼杵道路」の整備において予定されているトンネル工事等から発生する残土を活用し、この海域において必要最小限の埋め立てを行う考えはないのか伺う。

市長 浮き桟橋については、沈下を確認し、現在、船舶の航行に支障がないよう安全対策を行なっている。

埋め立てについては、西彼杵道路整備により生じる掘削土等を活用することも将来的な選択肢として考えている。

一般廃棄物処理施設について

問 一般廃棄物処理施設の広域化を推進する考えはないのか伺う。

市長 人口減少と物価高騰の進行に伴い、市民1人あ

たりのごみ処理費用が増加している状況下では、「市内完結型」のごみ処理体制の継続は困難であると考えている。県の「長期広域化・集約化計画」に基づき、ごみ処理の広域化を推進する。

スマイルワゴンの活用について

問 スマイルワゴンのPRや利用方法等の情報提供が不十分でない状況で、市民の方々に上手く利用されているのか伺う。

市長 未だ移動に困っているという声があるという事は、市の取組が十分に市民に届いていないという事であると受け止めている。広大な面積に集落が点在する地理的特性を有する本市において、移動不便の解消を図るには、限られた財源・交通資源を最大限に活用し、持続可能な交通ネットワークを確立する必要があることから、10月より新規部署として「交通対策推進室」を設置し、課題解決に取り組んでいる。



▲さらなる活用が見込まれる
さいかいスマイルワゴン

スマイルワゴン 各地区車輛の名称

うずしお号	西 彼 地 区
ジュリアン号	西 海 地 区
いせえび号	大 崎 地 区
あらかぶ号	大瀬戸地区



創生会
なか むら かす や
中村 和也

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

地域防災の強化を含めた空き家対策について

問 近年、空き家が増加傾向にある、令和6年3月に改訂された西海市空き家等対策計画によると、西海市においても平成30年で既に20%に達し、景観や環境衛生面、治安、防災上のリスクが懸念されている。相続登記もされず長期間放置されている事案も多く、倒壊の危険も課題となる。そこで、地域の実情に精通した消防団退職者を活用して、空き家の情報収集ができないか伺う。

市長 現在、消防団退職者の皆様には機能別団員への加入をお願いしている。初期消火活動や後方支援を行う、機能別補助団員及び機能別ラッパ鼓隊員がある。見回り活動を新たに委嘱することは考えていない。

問 空き家対策の専門部署の立ち上げ及び人材育成について伺う。

市長 本市では現在、空き家対策に関する業務を、住宅建築課、政策企画課、税務課、市民課など、関係部署がそれぞれの所掌において連携を図りながら対応している。長崎県空き家対策協議会による研修への参加や関係機関との情報共有、庁内での情報連携、専門性向上に努める。今のところ空き家対策の専門部署立ち上げは、予定していない。

問 市内の移住及び定住を目的とした所有者自らが行う空き家改修に対して補助する制度ができないか伺う。

市長 使途の特定と確認の困難さ、工事の品質と安全性の確保、地域経済への波及効果3つの理由でDIYによる経費削減は理解できるが、補助対象拡大は慎重な判断が必要である。税金を原資とした補助制度の創設については難しく、現行制度での運用を継続していく。



市内の
空き家の状況▶



新政会
あさ かわ ひろ ゆき
浅川 容行

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

市交通船事業について

問 関係する企業との協議はどうなっているのか伺う。

市長 松島火力発電所とは、昨年度から運賃改定や減便について個別に意見交換を行っている。本年度に入ってから停泊港の変更などを含めた協議も進めている。また、同航路の民間事業者とも情報交換を行っているが、その他の企業との個別協議は行っていない。

問 ダイヤの減便について、始発便と最終便については残すべきと思うが考えを伺う。

市長 今回は土日も含めて始発



▲市営船 New松島

便・最終便については残すが、今後、利用者がそれ以外でもよいという調整ができれば削減していきたいと考えている。

問 奨学金制度創設による船員確保を目指す考えはないか伺う。

市長 人材確保の点からも有効であり、現在、新たな制度の創設を教育委員会に対しお願いしている。今後、他事業者等の意見も伺いながら制度設計の中で検討を進めたい。

水道事業について

問 崎戸地区にある施設で水道水の残留塩素濃度が基準値以下の日が発生したがこの原因は何か伺う。

市長 本年6月6日と8月18日の、崎戸町にある施設内のことについてであると思うが、夜間や長期休み期間で当該管末箇所の使用水量が減少し、水道管内に水が長時間滞留したこと。また夏季の気温上昇も重なったことが原因であると考えている。

問 今後、上水道事業において有資格者を採用している事業者に対して水道事業の維持管理を行わせるべきではないか伺う。

市長 水道事業者である西海市は水道法で義務付けられた水道管理技術者を配置しており、事業者が行う上水道事業の維持管理業務は、市の指導・指示のもと実施している。そのため、これまでと同様の方法で上水道の維持管理業務は行っていく。



新濤の風
かた やま とも ひろ
片山 智弘

QRコードで一般質問の動画
が視聴できます

官民連携実証実験の導入

問 滋賀県守山市のような官民連携型の実証実験支援制度を本市でも導入する考えはないか。

市長 専門知識を持つ人材の育成や、社会実装に向けた出口戦略の課題がある。まずは予算を伴わない形での連携から地道に着手し研究していく。

問 特定分野に限定した実証実験の公募は可能か。

政策企画課長 特定のテーマを設定し、プロポーザル方式の業務委託等で実施することは可能であると考えている。

寄附を募る資金調達の活用

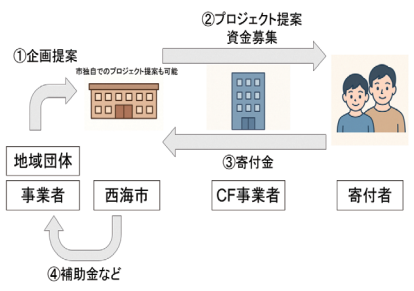
問 ガバメントクラウドファンディング（GCF）を導入し地域課題の解決に活用する考えはないか。

市長 資金調達の有効な手段と認識しているが、目標額に達しない場合の代替財源確保などの課題がある。実績を参考にしつつ研究を進める。

問 資金調達の専門部署や班を設置する考えはあるか。

市長 内部検討の余地はある。慎重ながらも、積極的にやれる部分は取り組むべきだと考えている。

ガバメントクラウドファンディング



▲ガバメントクラウドファンディングの流れ

デジタル格差の解消支援

問 デジタル推進員やボランティアの支援体制を導入する考えはないか。

市長 必要に応じデジタル庁が任命する推進員を活用し、地域住民の支援を強化する。

情報推進課長 市HPでの募集周知を予定している。需要が高まれば、出前講座等でさらに活用していきたい。

人気キャラクター等の観光活用

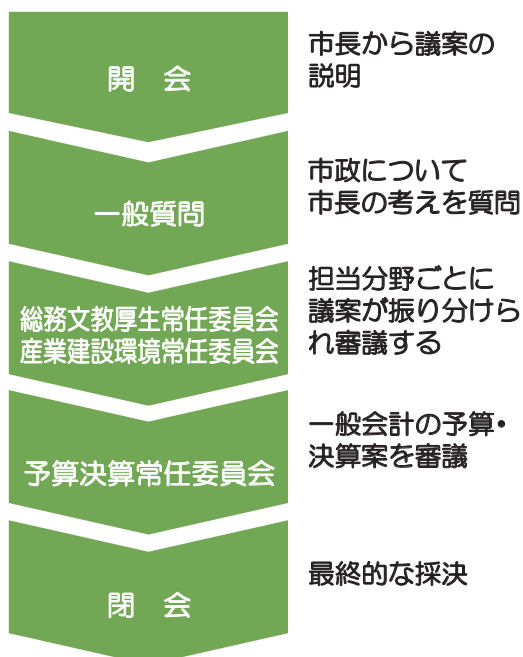
問 人気キャラクターとの連携によるプロモーションの考えは。

市長 大規模イベントは通信や交通面の条件から困難だが、「ポケふた」の大島大橋公園への設置は決定している。

特集：議会のしくみ

第3回「議会(定例会)の流れ」

過去の回も
ご覧ください



定例会は、こんな順番で進みます！

西海市議会の定例会は、決められた流れがあり開会日は、市長から提出された議案の提出理由の説明などが行われます。その後、一般質問が行われ、議員が市民の声をもとに、市政について市長の考えをたずねます。市政の課題や取り組みの方向性が、この場で明らかになります。

一般質問の後は、委員会による審議に入ります。まず、総務文教厚生常任委員会と産業建設環境常任委員会が同時に開かれ、担当分野ごとに議案の内容を詳しく調べます。続いて、全議員で構成する予算決算常任委員会が開かれ、一般会計の予算・決算案について集中的に審査が行われます。委員会での審査が終わると、再び本会議が開かれ、最終的な採決が行われます。こうして、市の大切なことが決まっていきます。



西海市議会からのお知らせ

西海市のホームページから、西海市議会に関する各種情報を公開しています。
定例会の日程や結果、会議録検索など最新の情報をご覧ください。

●議会中継を動画配信しています。

市のホームページから、または、右の二次元コードからアクセスいただくと、一般質問などの映像をご覧ください。

ライブ配信は議会開催中に、録画配信は会議終了後2週間程度でいただけます。



西海市議会
映像配信

●議会会議録を公表しています。

市のホームページから、または、右の二次元コードからアクセスいただくと、平成17年5月以降に開催された定例会・臨時市議会の会議録を、キーワード、発言者、会議日程などにより検索して、閲覧することができます。



西海市議会
会議録検索
システム

●西海市議会の本会議を傍聴してみませんか？

西海市議会の本会議は公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。

1：場所 本会議場（西海市役所本庁舎3階）

2：人数 60人まで

3：受付場所：本会議場前傍聴受付

- ・受付の際、所定の用紙に住所、氏名等を記載していただきます。
- ・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。



本誌にみなさまのお声をお聞かせください。

西海市議会だよりでは、「読者の声」を募集しています。

皆様のご意見は、一部を掲載し、今後の議会だよりの参考にさせていただきます。



▲こちらから応募できます

編集後記

あけましておめでとうございます。

令和7年第4回市議会定例会では、前回に続き、11人の議員が一般質問を行い、市民の皆さまの声を市政へ届けました。各常任委員会では、長い時間をかけて活発な質疑が行われました。

議会だよりでは、こうした議会の動きをわかりやすくお伝えするため、レイアウトや特集など、担当委員が工夫を凝らして作成しております。また、「皆さまの声（読者の声）」も募集しております。今後とも委員一同、よろしくお願いいたします。

（宮原 達也 委員）



議会広報広聴委員会



さいかい
市議会だより

No.79

令和8年2月5日発行

発行責任者◎西海市議会議長
編集◎議会広報広聴委員会

〒857-2392
長崎県西海市大瀬戸町瀬戸樫浦郷2222
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化学物（VOC）の発生を低減できる植物油インキを使用しています。